

1. はじめに

今年度は、栗山良次先生(前三養基高校校長)のご退職にともない本専門部部長を梶原裕隆先生(鹿島実業高校校長)にお引き受け頂きました。また、仁部智之先生(元多久高校教諭)が教育委員会に出向され、その後任として長谷部達彦先生(鳥栖商業高校)が4年ぶりに加わりました。

本年度も佐賀陸上競技協会に競技運営面、また選手の競技力向上にご協力を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。

2. 昨年度(H29.9～)今年度(H30.8 迄)を振り返って

昨年度の九州高等学校新人陸上競技大会では、佐賀清和高校が初の総合優勝を果たした。個人でも女子 400mH で樋口夏美(佐賀北2年)が優勝、大川なずな(佐賀清和2年)が2位、吉村渚紗(佐賀清和2年)が3位に入賞し佐賀県勢が表彰台を独占した。

10月末に実施することになった県高校駅伝競走大会では男子で鳥栖工業高校が8年連続42回目の優勝をした。女子は佐賀清和高校が3年連続5回目の優勝をした。

11月に沖縄県で開催された九州高校駅伝競走大会では男子の部で鳥栖工業高校が4位、白石高校が6位に入賞した。

12月に京都で開催された全国高校駅伝大会では男子の鳥栖工業高校が2時間7分33秒で18位、女子の佐賀清和高校が1時間13分45秒で38位、男子は15年間、女子も18年間、全国高校駅伝競走大会での入賞がない。

本年度の全国高校総体北九州地区予選会(大分)では、男子ハンマー投げで石井涼雅(牛津3年)が54m50cmで優勝、福田善和(佐賀工3年)が53m83cmで2位。男子5000mWで宮原空哉(鳥栖工2年)が21'17"78で2位、中谷瑠衣斗(鳥栖工3年)が3位、前田未知也(鳥栖工3年)が4位に入賞し鳥栖工業高校から3人が全国インターハイの出場権を獲得した。総合成績で鳥栖工業高校が20点を獲得し、総合4位(トラック総合3位)に入賞しました。

女子では、女子400mHで今村梨花(鹿島高・鹿島実・鹿島新3年)が59"11の大会新記録で優勝、2位に大川なずな(佐賀清和3年)59"17、3位に樋口夏美(佐賀北3年)1'00"59が入賞し、佐賀県勢が上位を独占した。また、今村は400mHで3連覇を達成した。その他にも今村は女子400mで55"78で優勝、100mHで14"25で3位に入賞し、2年連続3種目で全国高校総体への出場権を獲得した。大川も女子400mで2位56"55、女子4×400mRで2位3'49"51に入賞し、3種目で全国インターハイの出場権を獲得した。樋口も女子400mで5位57"05、女子4×100mRで優勝46"84、女子4×400mRで優勝3'45"20の4種目で全国インターハイの出場権を獲得した。女子5000mWでは渡辺夕奈(佐賀清和3年)が24'51"25で優勝、武藤実(佐賀清和2年)が3位

24'56"60に入賞した。女子4×100mRで佐賀北高校(竹内栞里3年・加茂明華3年・樋口夏美3年・森田彩楠1年)が46"84で優勝。女子4×400mRで佐賀北高校(有吉乃彩2年・加茂明華3年・稲田亜衣1年・樋口夏美3年)が3'45"20で優勝、佐賀清和高校(福田愛紗2年・出佳奈子3年・吉村渚紗3年・大川なずな3年)が4'49"51で2位に入賞した。女子総合成績で佐賀清和高校が総合2位(トラック総合1位)、佐賀北高校が総合5位(トラック総合2位)、「鹿島高・鹿島実・鹿島新」がトラック総合4位に入賞しました。年度当初の目標であった「北九州地区予選会で5種目の優勝」を上回り6種目の優勝を獲得しました。また、男子11種目(のべ18名)、女子13種目(のべ28名)の入賞を果たし、47名の選手を全国総体に出場させることができました。(昨年より19人増)

全国高校総体では、男子5000mWで宮原空哉(鳥栖工2年)が21'15"71で3位、女子400mHで大川なずな(佐賀清和3年)が1'00"12で5位、女子5000mWで武藤実(佐賀清和2年)が24'03"01で6位、男子3000mSCで西久保遼(鳥栖工3年)が9'08"04で8位、男子走り高跳びで佐々木拓朗(龍谷3年)が2m06cmで8位に見事入賞を果たしました。その他にも期待の種目がありましたがケガや体調不良のため、思うような結果を残すことができませんでした。しかしながら、5種目入賞は、佐賀県高校史上、最多の入賞数になりました。

全国高校選抜大会では、男子3000mWで姫野稀央(鳥栖工2年)が13'24"15で優勝、男子3000mで平駿介(白石3年)が8'28"05で2位、女子600mで稲田亜衣(佐賀北1年)が1'32"87で4位を果たした。これで全国高校総体と合わせて、8種目で8名の全国入賞者を出すことができた。まだ、10月に国体を残しているが全国入賞者が8名出たのは佐賀県高校史上、最高の成績となった。

昨年度より全国大会出場者が増加しましたが、その出場者のほとんどが3年生と言う現状があり、これからの競技力向上に努めなければならないと考えています。その中でも男子5000mWで3位に入賞した宮原空哉(鳥栖工2年)と女子5000mWで6位に入賞した武藤実(佐賀清和2年)は、佐賀県高校陸上界を牽引していく大きな力になってくれると期待しています。今後も引き続き、全国大会での入賞を目指し、様々な競技力向上事業を展開していきたいと考えています。

3. 最後に

来年度以降は、佐賀県総合運動場の改修工事に伴い、大会の開催や運営が例年通りできないなど、課題は山積みです。来年度も佐賀陸上競技協会、佐賀県体育協会、佐賀県高等学校体育連盟事務局のサポートを頂き、専門部が一丸となって頑張っていきたいと思います。2020年に東京オリンピックが開催されますが佐賀県から日本代表選手が出てくれるように高校生アスリートの部活動環境を支えていきたいと思っています。